



< 運営推進会議における評価\_様式例 > ※公表用

【事業所概要】

法人名	社会福祉法人 協同福祉会	事業所名	あすならホーム郡山看護多機能型ケアホーム
所在地	(〒 639 - 1021 ) 奈良県大和郡山市新木町 365-1		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

あすなら 10 の基本ケアを大切にしており、日々のケアで実践しています。介護が必要となった高齢者が住み慣れた家や地域での生活を継続することができるように、利用者の状態や必要に応じて「訪問看護」を中心に「訪問介護」「通い」「泊り」4つのサービスを組み合わせてサービスを提供しています。医療ニーズの高い人や退院直後の状態が不安定な人、在宅での看取りを希望する人への在宅療養支援が可能です。ご登録いただいた方の「暮らし」に合わせてご利用を相談、計画させていただいています。看護小規模多機能だけではなく、他のサービスもあり、複合的にサービスの展開をしています。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2025 年 10 月 22 日	従業者等自己評価 実施人数	( 12 ) 人	※管理者を含む
----------------	---------------------	------------------	----------	---------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2025 年 10 月 24 日	出席人数 (合計)	( 11 ) 人	※自事業所職員を含む
出席者 (内訳)	<input type="checkbox"/> 自事業所職員 ( 8 人) <input type="checkbox"/> 市町村職員 ( 1 人) <input type="checkbox"/> 地域包括支援センター職員 ( ___ 人) <input type="checkbox"/> 地域住民の代表者 ( 1 人) <input type="checkbox"/> 利用者 ( ___ 人) <input type="checkbox"/> 利用者の家族 ( 1 人) <input type="checkbox"/> 知見を有する者 ( ___ 人) <input type="checkbox"/> その他 ( ___ 人)			

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議が家族様や事業所、地域とのつながり、関わりをもつ機会と呼びかける。</li> <li>・家族様の意見を聞き、開催日程や時間も検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族様に運営推進会議にご出席いただけるよう声かけを行った。</li> </ul>	<p>どのくらい実践することが出来たのか →管理者だけでなく、スタッフ一人一人が家族さんや他機関との連携を取れるようになった。</p>
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者様と一緒に地域行事に参加する</li> </ul>	<p>利用者個々の医療ニーズに応じて、看護師と介護士が連携し、生活支援を行っている。</p> <p>朝礼やミーティングで学習の機会を持ち、知識を深めていく</p>
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のイベントへお出かけに行き、地域とのつながりをもつ。</li> </ul>	<p>医師、薬剤師、ケアマネジャー、ヘルパーなどと定期的に会議を行い、利用者の状態に応じた最適な支援を調整した。</p> <p>疼痛管理などを通して、施設外の関係各所と連携ができています。</p>
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 (評価項目 32～41)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方も交えた訓練を実施する。地域の方の受け入れなどについては随時、市と協議し、できるだけ支援はさせてもらう</li> </ul>	<p>地域学習会やサロン活動を通して地域住民との連携を強化。福祉サービスの利用促進を図り、住民の健康維持に貢献した。</p>
III. 結果評価 (評価項目 42～44)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議が家族様や事業所、地域とのつながり、関わりをもつ機会と呼びかける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族様に運営推進会議にご出席いただけるよう声かけを行った</li> </ul>	

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目		評価結果	改善計画
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)		管理者だけでなく、スタッフ一人一人が家族さんや他機関との連携を取れるようになってきた。	全職員への定期的な理念確認ミーティングを実施し、理念の浸透を図るとともに、スタッフ間の情報共有を強化するために定期的なミーティングやリアルタイムでの情報共有を行います。
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	朝礼やミーティングで学習の機会を持ち、介護や医療に関する知識を深めていくことで、個別ニーズに沿ったケアができている。	個別ニーズに基づいた支援計画を定期的に見直し、職員の専門知識を強化する研修を実施します。また、ICTを活用して情報共有と連携を強化し、利用者の意向を反映した柔軟なサービス提供を促進します。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	家族も記録を見られるようなソフトを導入予定。家族との迅速な情報共有やスタッフの業務効率化アップに期待。	定期的な情報交換の場を設け、関係機関・職種間の連携を強化します。また、共有システムの導入を進め、迅速かつ効果的な情報共有を促進し、利用者に対して一貫したサービス提供ができる体制を整備します。
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 (評価項目 32～41)	地域学習会や地域への発信にもう少し力を入れていきたい。	地域学習会やサロン活動を通して、地域に根差した活動を行います。また、地域イベントや啓発活動に積極的に参加し、利用者とその家族が地域で安心して生活できる環境づくりを支援します。
III. 結果評価 (評価項目 42～44)		利用者本人だけでなく、家族にも寄り添うケアを心がけている。入退院の際も安心して相談していただけるよう連携を図っている。	サービス提供後の定期的なフィードバックを利用者や家族から収集し、想いに寄り添ったケアを提供します。 多職種、他機関と連携のうえ、看取りも含めた新規受け入れを積極的に行います。

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します